

蔵王集会(中間研究集会) 分科会 内容

No.	分科会名	I 5月10日(土) 16:00~17:30	II 5月11日(日) 9:00~11:30
1	国語と教育	■模擬授業 「楽しく、力をつける国語の授業入門」 佐賀井 伸(山形国語サークル:ぼんどり) 前半「詩の授業入門」 ～詩の情景をイメージして、作者の感動をつかもう～ 後半「文法の授業入門」 ～こうすれば、文法がわかって、楽しくなる～	・「一つの花(小四)」の実践 斎藤まき(山形国語サークル:ぼんどり) ・「川とリオ(小六)」の実践 佐賀井 伸(山形国語サークル:ぼんどり)
2	作文と教育	【テーマ】 「子ども達の内面に寄り添い、生活を見つめた真実の表現をどう書き、綴り、それをどう読み合い、共感しあっていくか」 =子ども達に、安心と希望を育む綴り方教育の実践を= 【討論の柱】 1. 震災後の子どもの実態、地域・学校・教職員の状況を語り合い課題を明らかにする。 2. なぜ、今、書くことを大切にするか、綴り方の固有の意味をさぐる。	レポート ○「かかわりから、心のふるえを表現して」 小澤 映子(岩手) ○「生活を綴る ―中学校での実践―」 近野 享子(山形)
3	外国語と教育	■模擬授業・講座 「自立して学習できる子どもを育てる」 ―中学1年 発音の授業― 講師 桑原 孝(宮城) <内容> 英語の学習は、文字を音にできないとなかなか前に進みません。文字の音声化ができないと、文が表す意味の世界には入れないからです。子どもたちには、自分の力で文字を音にする力をつけたいものです。この模擬授業では、日本人が英語の音を易しく習得できる指導過程を提案します。日本語の音を基に、舌や口構え、息の出どころ・出し方などの調節を自分でできるようにするものです。慣れてくると、まだ学習していない未知の音を予測することができるようになります。	【テーマ】自立して学習できる子どもを育てる ○授業報告 1「中学3年 Anne of Green Gables (OXFORD BOOKWORMS)の教材研究と授業案」 昆野 明彦(岩手) 2「存在とありか(在処) The ball is in the box.と There is a ball in the box.-先生！絵にしたら同じ文なのに、どうして二種類も覚えなくちゃいけないの？」 武藤 薫(埼玉) 3「不定詞」 中島 誠太郎(福島) 4(山形からの報告)
4	社会科と教育	【テーマ】 1. 子どもによりそい、子ども達が地域や生活の現実から課題を把握できる力を伸ばす社会科教育の創造 2. 子どもたちが力を出し合い、意欲的に課題を追求できる社会科授業の創造 【討論の柱】 1. 地域の歴史や生活の現実から、子どもたちが課題を発見するために、地域・生活をどう教材化すればよいか。	レポート ①「協働学習」を実践して 佐藤光康(山形) ②厨房から見た国民権 夢田真敏(山形) ③「未定」 石田伸子(山形) ④「未定」 舟越 精(山形) ⑤「幕末・明治維新と庄内」 鈴木 昭彦(山形)
5	算数・数学と教育	■講座・教具づくり 「小学校の子どもたちから学んだ算数・数学」 鈴木 正(宮城) レポート 小学校 ○木下 彰(岩手)	○「算数したいⅢ(特別支援)」 山川 貴子(山形) ○「算数・数学の学力とそのリテラシーを高めるために」 早坂 久佳(山形) 中学校 ○千葉 晃弘(岩手) 高校 ○宮本 次郎(岩手)
6	理科と教育	■実践紹介 「身近な材料で、理科の原理がよくわかる実験や教具の紹介」	○東北各県よりレポート発表
7	音楽と教育	【テーマ】 ”いっぱい音楽、あふれる喜び” ○保育・授業の実践テープを聴く。 「歌、リズムで育つ子どもたち」(基調報告)の後、各レポーターの発表を聞き、子どもたちの喜びや輝き、どんな教材曲を選び、どう働きかけたのかなどを学び合います。 ○リズム表現をする。(会場でできるものをします。) ピアノの音を聴き、感じた音楽を身体で表現します。トンボになったり、クモになったり…。新しい沖縄のリズムも教えます。 ○みんなで歌う。 参加者のピアノでたくさんの教材曲を歌います。豊かな音楽は心の芯に届き、喜びが全身を包みます。初めて出会う歌や教室で歌われるテープの歌声に、新しい魅力を見つけられるでしょう。 ○レポート発表予定者 保育の実践 日食 正昭(基調報告・宮城) ※他、山形をはじめ参加者のレポートを聴きます。(当日、「リズム集Ⅰ・Ⅱ」「かがやく歌Ⅰ・Ⅱ」の販売もします。)	

8	美術と教育	子どもの絵や作品を持ち寄ろう！語ろう！	○東北各県よりレポート発表
9	技術と教育	【テーマ】小中高を一貫した技術教育としての、教材づくりと授業づくり	○東北各県よりレポート発表
10	身体と教育	「フラグフットボールの実践報告」（山形）	「チームを育てよう～小学校6年 バasketボールの授業～」 江島 隆二(宮城 大衡小)
12	生活指導と教育	■講座「これがポイント！ 5月から学級をどう高めていくか。」 講師 奈良光一さん(秋田)	実践分析 レポートをもとに実践分析を行う。 山形・福島他
13	高校生と教育	■模擬授業「見れども見えず」 講師：庄司吉郎(山形) 『科学は、実験によって真理を決める人間の活動であり、多数決で真理を決めたり、えらい人が真理を決めたりするのではない。』仮説実験のエッセンスを一時間にまとめた授業プランです。授業開きやロングホームルーム、果ては研究授業まで、困った時の一時間にどうぞ。	「高校生の平和のためのとくみきをどうすすめるか。」 「フクシマ原発事故を教材にして原発・放射能をどう教えるか。」そして、「私たちにできることは何か。」を交流する場を設定します。レポート募集中。
14	幼年と教育	中間集会では分科会を開催しません。本集会でお会いしましょう。	
15	障がいのある子と教育	■講座「発達障がいのある子ども達への対応のポイント」 鈴木典子(山形) 子ども達に寄り添うために、子どもと発達障がいを理解し、指導のあり方を実践を通して探ります。	実践報告 ①レポート名未定 漆山 美子(山形) ②チームで支援する校内体制づくり 酒井 枝里子(山形)
16	演劇と教育 (子ども文化と教育)	■講座「子どもがいきいきする劇あそび・即興劇」 古川 晃(福島) 子どもたちは劇あそびが大好き。「子どもたちの心をひらく」「心をつなぐ」「表現力を高める」「考えを深める」こんな目的をもった劇あそびや即興劇を参加者みんなで体験してみよう	2日目は分科会を開催しません。
17	教師の文学活動	中間集会では分科会を開催しません。本集会でお会いしましょう。	
18	学校と教育	3・11から3年を経た今、学校や地域社会で何が起きているのか、各現場ではどのように対峙しているのか、2日間に渡って東北各県から報告します。 ○問われる学力と生存の権利 遠藤智恵(福島)	○各県からの実践報告
19	国民教育運動	○国民教育分科会の歴史に学ぶ 本分科会が東北民教研の中でいつスタートし、どんな役割を果たしてきたか。 ○山形集会の課題 安倍教育再生攻撃と国民的反撃が求められる。 ○各県の状況を交流する本集会(8月)にするためにどのような準備をするか。	○前日の続きを討論します。 ○各県からの実践報告
20	生活科・総合学習と教育	■模擬授業「たんけんに行こう！」 吉田智子(岩手) 16:00 ホテル玄閣集合出発 ～17:30 生活科・理科で実践できる「野外たんけん」をみんなで楽しく体験しましょう。蔵王の春の自然にワクワクしますね。「ねらい」や「大切にしたいこと」など、子どもの発達上の意味も明らかにします。すぐ、授業に生かします。	レポート討議 「総合スタート！」小学校3年生の実践 岩手 城内小 山本公恵 若くて元気いっぱいの子の本山実践から、地域に根ざした子どもの発達を保障する総合学習の意義をさぐりましょう。
21	不登校・ひきこもりと教育	テーマ「震災復興と子ども・若者－3年後の現状」 大震災発生から3年半が過ぎようとしています、その後子ども・若者を取り巻く現状はどうなっているだろうか。各県のいろんな実態を出し合い、明らかにしていきたい。 不登校・ひきこもりの子ども・若者がどのような影響を受け、今後どのような困難が予想されるかを話し合い、教育と社会による支援のあり方を検討していきたい。 レポート(予定) ○「ボランの広場」の子ども・若者の現状…報告者 北鮮恭子(「ボランの広場」理事) 居場所に集う子ども・若者の様子と寄り添い方、支援の状況について ○子どもの現状、様子について…報告者 各県代表 大地震の後の子どもの現状と問題点、新たな眼題 ○震災後の若者の変化について…報告者 中村信之(みやこ自立サポートセンター) 震災を機に外に出て社会参加を果たす若者、それとは逆に益々ひきこもりを強める若者の姿	

* 11 家庭科と教育分科会は、蔵王集会では開催致しません。